

民間における中大規模木造建築の普及に向けた課題と展望

2021年に施行された「都市（まち）の木造化推進法」の施行によって、中大規模建築における木材利用のさらなる拡大に向けた民間の取り組みが進んでいます。民間建築に関しては、木材利用による環境問題や地域経済への貢献度だけでなく、事業性の評価も求められます。2025年9-12月の月例研究会では、不動産経営の観点から、シリーズ「民間における中大規模木造建築の普及に向けた課題と展望」を企画しました。

9月は、木造建築のランニングコストと深く関わる建築寿命と耐用年数について、早稲田大学名誉教授の小松幸夫先生にご講演頂きます。小松先生はこれまでおよそ半世紀に渡り、木造、RC造、S造等の建築の寿命について、固定資産税用の家屋台帳に基づく調査研究を継続されています。

10月は、中大規模木造建築の建設費用削減の最新動向について、国内住宅メーカーで中規模木造建築に積極的に取り組んでいるAQ Group商品技術部長の塚谷誠氏にご登壇頂きます。塚谷さんには、同社における開発部門の責任者として、建築および建材調達の工夫による具体的なコストダウン戦略の実践例についてご講演頂きます。

12月は、中大規模木造建築の普及にとって重要な資金調達のあり方について、日本政策投資銀行のグループ企業である価値総合研究所において不動産投資調査に長く関わっておられる北川哲様をお招きし、金融機関および投資家の視点から、木材利用を視野に入れた視点からご講演頂きます。

多くの皆さまの参加をお待ちしております。



9月：小松幸夫氏



10月：塚谷誠氏



12月：北川哲氏

9月	146回	日時：2025年9月18日（木）15：00～（対面） 演題：木造住宅の寿命と耐用年数 小松幸夫氏（早稲田大学名誉教授）
10月	147回	日時：2025年10月9日（木）17：30～（配信開始17：15） 演題：中大規模木造建築のコスト戦略 塚谷誠氏（AQ Group商品技術部長）
12月	149回	日時：2025年12月11日（木）17：30～（配信開始17：15） 演題：中大規模木造建築の建設資金の調達における金融機関との対話 北川哲氏（価値総合研究所不動産投資調査事業部副主任研究員）

- 主催：木材利用システム研究会
- 会場：9月：東京大学農学部キャンパス内 弥生講堂一条ホール
10月&12月：ZOOMミーティング
- 参加費：会員：無料
非会員：9月5000円、10月&12月3000円
- 申込方法：研究会ホームページ（<https://www.woodforum.jp>）からお申し込みください。
- 備考：最新情報は研究会ホームページを確認ください。
ZOOMの登録方法は、お申込み頂いた方に、研究会前日に連絡いたします。
11月の月例研究会は、「木材利用システム学の成果と展望（仮）」です。
東京大学農学部 中島記念ホールで対面開催です。詳細はウェブを参照下さい。



研究会 Web サイト

木材利用システム研究会事務局（長坂、知念、秋津）
東京大学木材利用システム学研究室内
電話：03-5841-7506 メール：info@woodforum.jp